

八峰白神ジオパークを立ち上げ、運営していく為には、どうしても「大地の研究」が欠かせません。普段何気なく使っている言葉でも知っていたつもりが、実はあいまいだったりします。例えば「水」は石の仲間でしょうか？

### 「石」って何？



写真2 岩石を切った表面

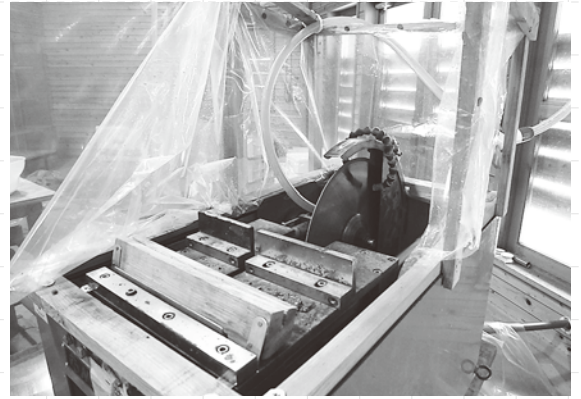


写真1 岩石カッター

この答えを出すためには「石」という物体をよく知らなければなりません。その方法の一部を紹介します。

### 地質調査をする

地質調査の活動を大きく妨げる大きな原因の一つに植物があります。山地を覆う植物が石を隠してしまうのです。ところが当ジオパークエリアは、当エリアを代表するほとんどの種類の石が海岸で見ることができ、調査しやすい場所となっています。

### 石を切る

石の表面を観察しただけではその石の性質や生まれ、育ちがよく判りません。そこで石の中身を調べるようになりますが、ダイコンを包丁で切るような訳にはいきません。岩石カッター（写真1）で切断します。切断面（写真2）は結晶の大きさや縁の様子がよく判り、その石の経歴が読み取りやすくなります。

### 切断面を磨く

石の性質にもよりますが、切断面はザラザラしていて白っぽく見えます。細かい部分が観察しにくいのです。そ

ここで、研磨剤を使ってピカピカに磨きます。この作業を加えることにより、より細かい部分まで観察できます。

### 石の薄片をつくる

さらに詳しく調べるには顕微鏡（写真3）を使わなければなりません。顕微鏡を使うためには石が光を通さなければなりません。そこで石を0.03mmの厚さ（写真4）に作ります。大変な技術が必要とします。



図3 岩石を調べる顕微鏡

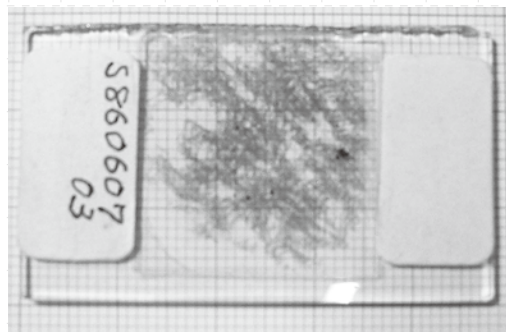


図4 岩石の薄片

### 鉱物顕微鏡で調べる

できた薄片で石の中身を調べるのですが、初めて見る人はほとんど「アッ！」と声をあげます。それほど美しいのです。ぜひ見たい方はぶなっころろ木工芸体験室までおいでください。

### たくさんの方々のご協力に感謝

ここまで研究ができるまでには秋田大学をはじめ、新潟大学などの諸大学、会社、ガイドの皆さん、漁師さんたちと多くの方々にお世話になっています。ありがとうございます。

調査・研究の成果はその都度活用してきました。今後とも益々有益に活用していきます。



八峰白神ジオパーク推進協議会

研究専門員 工藤 英美

〒018-2632

秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四一

ぶなっころろ内

TEL 0185-177-3086